

# 平成27年3月期第2四半期 決算説明会

平成26年11月7日

富士石油株式会社



Fuji Oil Company, Ltd. (TSE:5017)





# 次第

- 平成27年3月期第2四半期決算
- 平成27年3月期通期決算見通し
- 自家発電プロジェクトの概況

# 平成27年3月期第2四半期決算



Fuji Oil Company, Ltd.

<http://www.foc.co.jp/>

(TSE:5017)

## ドバイ原油価格

(ドル/バレル)



- 地政学リスクにより上昇するも
- 世界経済減速懸念に伴う需要鈍化

## 為替レート (TTM)

(円/ドル)



- 米国経済情勢等により円高進むも
- 米国早期利上げ観測等で円安に

# 石油製品販売量・原油処理量

(単位:千KL)	平成27年 3月期 第2四半期	平成26年 3月期 第2四半期	前年同期比 (%)
ガソリン	1,055	754	140%
ナフサ	157	97	162%
ジェット燃料	521	447	117%
灯油	107	76	141%
軽油	998	613	163%
A重油	99	83	119%
C重油	172	351	49%
(内電力向け)	(147)	(328)	(45%)
ベンゼン	103	60	172%
キシレン	182	123	148%
石油ピッチ	186	148	126%
その他	242	275	88%
小計	3,827	3,034	126%
ジョイント・バーター	296	335	88%
<b>合計</b>	<b>4,123</b>	<b>3,369</b>	<b>122%</b>
原油処理量	4,073	3,067	133%
稼働率	97.9%	73.7%	

- 国内燃料油需要は低水準であったものの
- 前期の定期修理の反動で大幅増
- 電力向けC重油は減少  
白油・化成品増産

# 平成27年3月期第2四半期 連結決算の概要

(単位:億円)

	平成27年3月期第2四半期 103.8ドル/バレル 103.0円/ドル	平成26年3月期第2四半期 103.5ドル/バレル 98.9円/ドル	増減額 +0.3ドル/バレル + 4.1円/ドル
売上高	3,628	3,216	411 (13%)
営業利益	△11	△52	40(-)
除在庫影響	3	△74	77(-)
経常利益	△4	△66	61(-)
当期純利益	△8	△67	58(-)

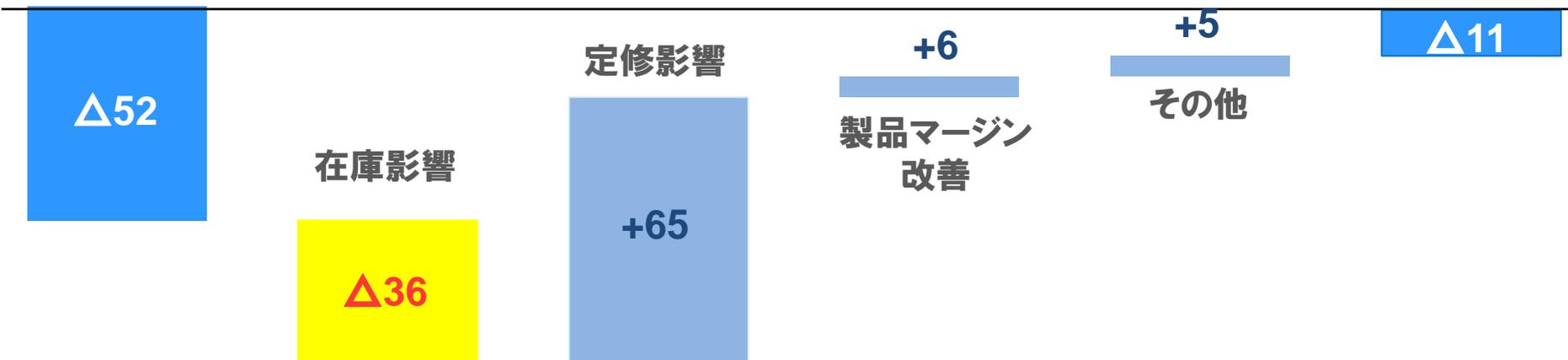
## 営業利益の増減要因

在庫影響除き +77

(単位:億円)

26年/3月期  
第2四半期

27年/3月期  
第2四半期



# 連結貸借対照表の主な増減項目



(単位:億円)

	平成26年9月末	平成26年3月末	増減額	主な増減要因
流動資産	2,447	2,527	△79	棚卸資産 +11 売掛金 △76
固定資産	1,234	1,275	△40	減価償却費 △44
資産 合計	3,681	3,802	△120	
流動負債	2,391	2,463	△72	短期借入金 △274 買掛金 +98 未払金 +86 未払揮発油税 +11
固定負債	558	584	△26	長期借入金 △35 修繕引当金(定修) +9
負債 合計	2,950	3,048	△98	
純資産合計	731	753	△21	利益剰余金 △18 為替調整 △3
負債純資産合計	3,681	3,802	△120	

# 連結キャッシュフローの状況



(単位:億円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期第2四半期 要因説明
営業活動によるCF	340	△219	税前利益 △5 減価償却費 44 売上債権減少 76 棚卸資産増加 △11 仕入債務増加 98 未払揮発油税増加 11 未払金消費税増加 68
投資活動によるCF	△16	1	有形固定資産取得 △12
財務活動によるCF	△313	208	短期借入金純増 △275 長期借入金(net) △32 配当金支払い △3
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	2	
現金及び現金同等物の増減	10	△6	
現金及び現金同等物の期首残高	127	132	
現金及び現金同等物の期末残高	137	125	

# 平成27年3月期 通期業績 見通し



Fuji Oil Company, Ltd.  
<http://www.foc.co.jp/>  
(TSE:5017)



## ■ 原油価格(ドバイ原油)・為替レート的前提

原油価格  
(ドバイ原油)

下期 95ドル／バレル

上期実績：103.8ドル／バレル  
通期平均：99.4ドル／バレル

為替レート

下期 110円／ドル

上期実績：103.0円／ドル  
通期平均：106.5円／ドル

## ■ 課題

- 安全・安定操業
- 製品需要に応じた柔軟かつ機動的運転を実施し高稼働を維持
- 省エネ・コスト削減の進展
- 発電2プロジェクト(後述)の着実な進行

# 平成27年3月期 石油製品販売量

(単位:千KL)

	平成27年 3月期 (計画)	平成26年 3月期	前期比 (%)
ガソリン	2,111	1,641	129%
ナフサ	337	299	113%
ジェット燃料	781	895	87%
灯油	634	405	157%
軽油	2,017	1,445	140%
A重油	160	164	98%
C重油	407	790	52%
(内電力向け)	(346)	(736)	(47%)
ベンゼン	205	168	122%
キシレン	374	299	125%
石油ピッチ	377	336	112%
その他	468	551	85%
小計	7,875	6,998	113%
ジョイント・バーター	435	669	65%
<b>合計</b>	<b>8,310</b>	<b>7,668</b>	<b>108%</b>
原油処理量	8,103	7,159	113%

- 前期の定期修理の反動等で増産
- 製品需要に応じた効率的な生産

# 平成27年3月期 通期連結業績見通し



(単位:億円)

	平成27年3月期 99.4ドル/バレル 106.5円/ドル	平成26年3月期 104.6ドル/バレル 100.2円/ドル	増減額 △5.2ドル/バレル +6.3円/ドル
売上高	7,270	7,029	240(3%)
営業利益	24	△78	102(-)
除在庫影響	32	△97	129(-)
経常利益	18	△101	119(-)
当期純利益	13	△118	131(-)

## 営業利益の増減要因

在庫影響除き +129

(単位:億円)

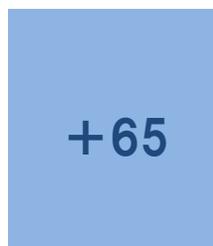
26年/3月期



在庫影響



定修影響



+62

製品マージン  
改善

+3

その他

+24

27年/3月期



# 自家発電プロジェクトの概況



Fuji Oil Company, Ltd.  
<http://www.foc.co.jp/>  
(TSE:5017)

# ① パワーリカバリー発電設備(PRTG)

## 第2流動接触分解装置パワーリカバリー発電設備

- 送電端出力:4,000~4,200kW(4年平均)  
⇒自家発電比率は60→**68%**へ
- 運転開始時期:平成27年9月
- 省エネ効果:年間8,750KL(原油換算)

(\*経済産業省エネルギー使用合理化事業者支援補助金(1/3)の給付事業)



袖ヶ浦製油所 第2流動接触分解装置

- 触媒再生塔排ガスの持つエネルギーを利用して発電を行い、**購入電力の削減**を図る

## ②ASP焚きボイラータービン発電設備(ASP-BTG)

### ■ アスファルトピッチを燃料とする自家用ボイラータービン発電設備

- 発電出力: 36,000kW ⇒ 自家発電比率は**ほぼ100%**へ
- 燃料: アスファルトピッチ(ASP) (最大消費量: 毎時23トン)
- 最大蒸気発生量: 毎時295トン
- 運転開始時期: 平成29年7月(本体建設工事: 平成27年4月～)

### ■ 背景

- 既存ASP焚きボイラー老朽化対応
- ASPと原油価格の価格差(油炭格差)の拡大対策
- 震災後の電気料金値上り対策(自家発電比率の改善)

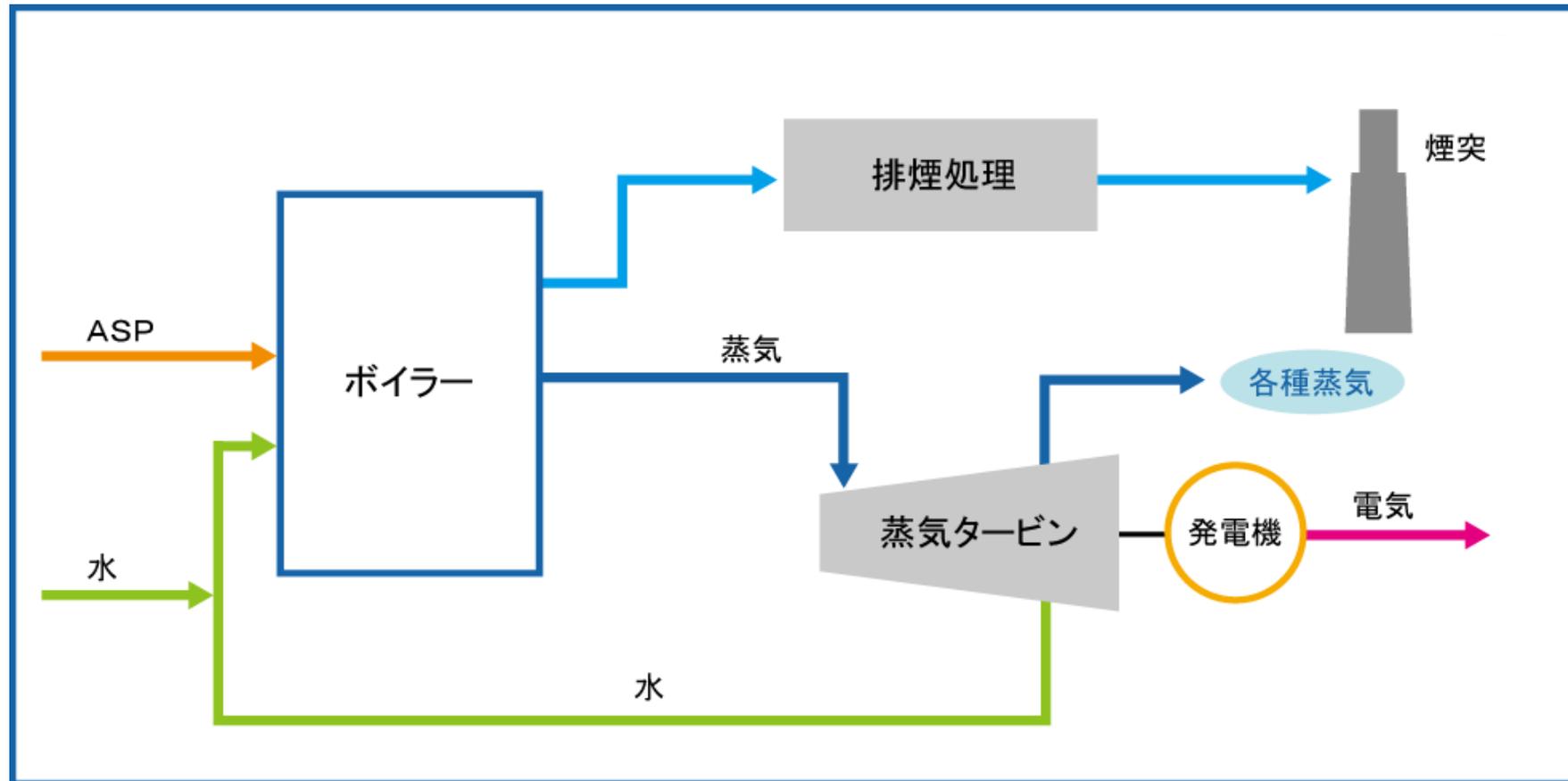
⇒ASPを蒸気と電気に変換して**収益改善と省エネを図る**

### ■ 導入メリット

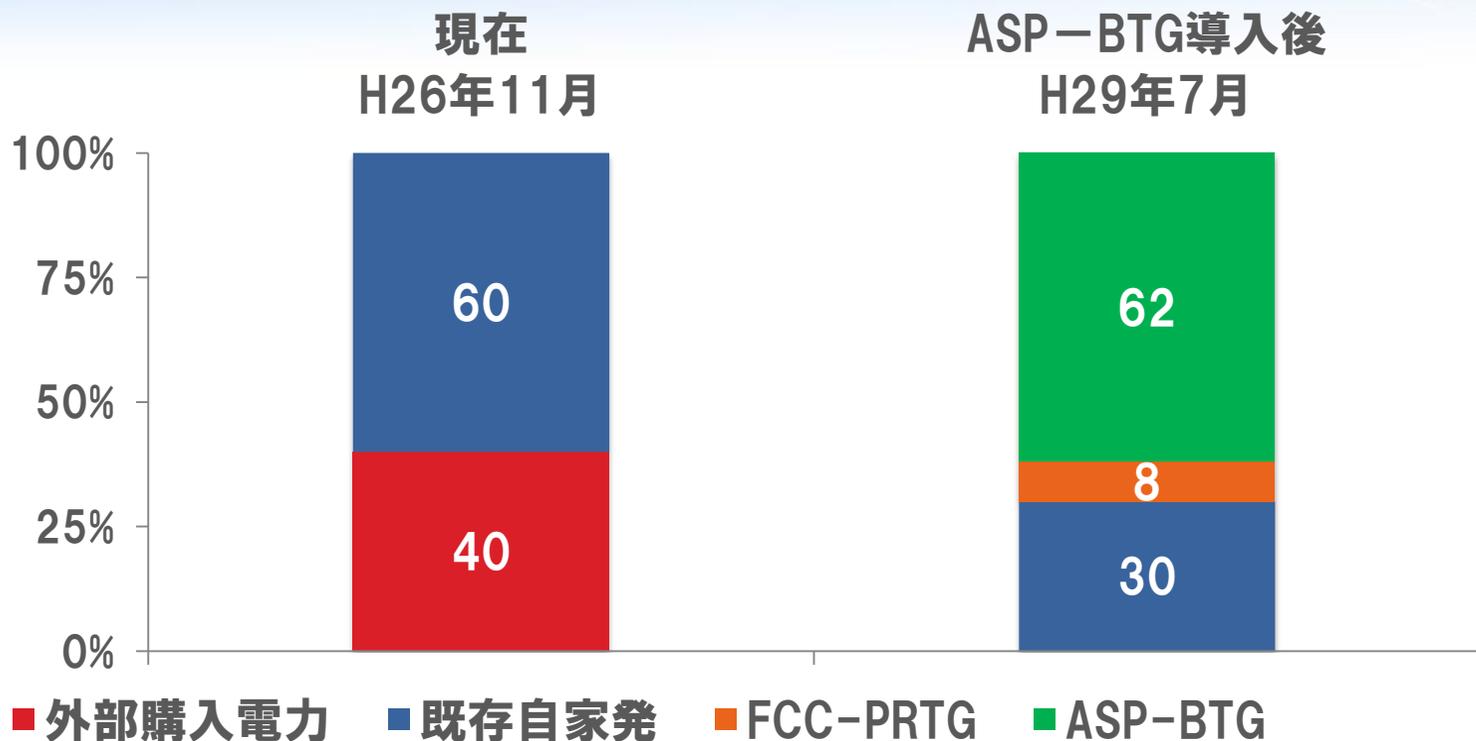
- エネルギー効率改善: 年間27,000KL(原油換算)
- 購入電力削減: 年間約130百万kWh
- 所内自家発電比率改善: ほぼ100%に
- 燃料費低減  
LPG焚きのガスタービン1基を停止してASP-BTGに切り替えるメリット

## ②ASP焚きボイラータービン発電設備(ASP-BTG)

### ASP-BTGモデルフロー



# 所内電源内訳の推移



■ ASP-BTG	0%	62%
■ FCC-PRTG	0%	8%
■ 外部購入電力	40%	0%
■ 既存自家発電	60%	30%



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問合せ先

IR・広報グループ 岩本・山田まで



Fuji Oil Company, Ltd.  
<http://www.foc.co.jp/>  
(TSE:5017)

# 参考資料



Fuji Oil Company, Ltd.  
<http://www.foc.co.jp/>  
(TSE:5017)

# 原油価格・為替変動の経常損益への影響額



	基準		
原油価格 1ドル/バレル下落に付き	95ドル	在庫影響	△6億円
		石油ピッチ 自家燃料費	+3億円
		計	△3億
為替 1円/ドル円高に付き	110円	在庫影響 外貨資産	△5億円 △1.5億円
		石油ピッチ 自家燃料費	+2億円
		計	△4.5億円

(注) 上記影響額は見通し期間である平成27年3月期下期を対象として試算しています